

「ニューイヤーコンサート」

The Special Concert "New Year Concert" of the Kyoto Symphony Orchestra

常任指揮者・広上淳一が、本場ウィーンのニューイヤーコンサートを思わせる豪華絢爛で
オリジナリティあふれるワルツ&ポルカの数々をお贈りします。

京響が誇る若きコンサートマスター泉原隆志と首席ヴィオラ奏者小峰航一が息の合ったソロを聴かせる
モーツァルトの協奏交響曲とともに、心あたたまる幸せな新春のひとつときを！



Photo : Greg Sailor

指揮 広上 淳一 (常任指揮者) Conductor : Junichi HIROKAMI (Chief Conductor)

東京生まれ。東京音楽大学指揮科に学ぶ。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクール」に優勝し、国際的な活動を開始。1991～95年ノールショピング響首席指揮者、1991～2000年日本フィル正指揮者、1997～2001年ロイヤル・リヴァプール・フィル首席客演指揮者、1998～2000年リンブルク響首席指揮者、2006～08年米国コロンパス響音楽監督を歴任する傍ら、フランス国立管、ベルリン放送響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィルハーモニー管等に定期的に客演。2007年サイトウ・キネン・フェスティバル・オーケストラ、2008年水戸室内管弦楽団の公演も聴衆、批評家から絶賛された。オペラの分野でも国内外で活躍し、最近では新国立劇場《椿姫》、日生劇場《フィガロの結婚》が記憶に新しい。2013年1月「第32回藤堂音楽賞」受賞。東京音楽大学教授。京都市立芸術大学客員教授。2008年4月から京都市交響楽団常任指揮者。



ヴァイオリン 泉原 隆志 (京響コンサートマスター) Violin : Takashi IZUHARA (Concertmaster of KSO)

ニューヨークにてダヴィッド・オイストラフの愛弟子アンナ・パレック氏に師事。1997年桐朋女子高等学校音楽科(共学)ヴァイオリン科を首席で卒業。同年桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースに進み修了。その後ブリュッセル王立音楽院入学、修士課程に進み2002年よりハンブルク国立音楽大学に編入。ロームミュージックファンデーションに選ばれる。また2004年より2年間文化庁芸術家在外研修員に選ばれ更に同大学で研鑽。2006年最優秀の成績で卒業、ディプロム取得。在学中より国内外でソロリサイタルやコンサートに出演、また室内楽奏者としても活躍。これまでに原田幸一郎、イゴール・オイストラフ、ピョートル・モンテアヌの各氏に師事。東京響、読売日響、東京フィル、日本フィル、仙台フィル、大阪センチュリー響、広島響などの客演コンサートマスターを務める。室内楽セミナー「秋吉台の響き」の講師を務める。2012年京都市芸術新人賞を受賞。現在、京都市交響楽団コンサートマスター。



ヴィオラ 小峰 航一 (京響首席ヴィオラ奏者) Viola : Koichi KOMINE (Principal Violist of KSO)

6歳よりヴァイオリンを宮澤健一氏に師事。11歳でヴィオラに転向し、東京藝術大学附属高校、同大を経てパリ国立高等音楽院を最高の成績で卒業。ヴィオラをブルーノ・パスキエ、菅沼準二、クロード・ルロン各氏に師事。南仏サン・ジャン・ド・リュズでの国際ラヴェルアカデミーにおいてゲイリー・ホフマン、ミゲル・ダ・シルヴァと共演し、ボナ美術館賞を贈られる。「レシタル・ドゥ・プランタン」(春のリサイタル)に招かれラヴェルの生地リサイタルを開く。2007年日本演奏連盟主催のデビューリサイタルを東京文化会館にて開催。パリ管弦楽団アカデミー生、紀尾井シンフォニエッタ東京シーズンメンバー、札幌交響楽団首席奏者を経て現在京都市交響楽団首席奏者、京都ラビッシュアンサンブルメンバー。2013年より京都市立芸術大学非常勤講師。オリジナル楽器の演奏ではバッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカ、ガット・サロンに参加。鈴木秀美、若松夏美の各氏と共演する。



京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団(京響)は、日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。最近では、楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏などにも積極的に取り組み、07年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。08年4月、第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任し、09年からは「スプリング・コンサート」や「オーケストラ・ディスカバリー」など新企画で注目を集めている。録音では、広上淳一指揮「名曲ライブシリーズ」CD第1弾を10年11月、第2弾を12年2月に発売し、13年9月には最新盤となる第3弾を発売。半世紀という節目を経て、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

次回
予告

2013年 10/20(日)から発売！



第575回定期演奏会

炎のコパケン、孤高の交響曲サン＝サーンス「オルガン付」
&ハノーファー国際コンクールの若き覇者、三浦文彰が登場！

日時：2014年1月24日(日) 午後7時開演

会場：京都コンサートホール

指揮：小林 研一郎

独奏：三浦 文彰 (ヴァイオリン)、長井 浩美 (オルガン)

曲目：ウェーバー：歌劇「オベロン」序曲

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲ホ短調op.64

サン＝サーンス：交響曲第3番ハ短調「オルガン付」op.78

入 場 料

5 ¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

次回
予告

2013年 11/30(土)から発売！



第576回定期演奏会

ほとばしる生命の息吹と野生のリズム！秋山和慶の「春の祭典」
&児玉桃のモーツァルト、きらめく早春のコンチェルト

日時：2014年2月23日(日) 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール

指揮：秋山 和慶

独奏：児玉 桃 (ピアノ)

曲目：メルキュール：オーケストラのための「トリプティック」

モーツァルト：ピアノ協奏曲第23番イ長調 K.488

ストラヴィンスキー：バレエ音楽「春の祭典」

入 場 料

5 ¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)



©M.Hikita



©Vincent Garnier